



たきかわコスモスマラソン2013

●目次●

主な議案のあらまし	2
一般質問から	3～10
議決結果	10
決算審査特別委員会	11
副議長コラム・議会日誌・編集後記	12

1,700人を超える選手が参加した
たきかわコスモスマラソン2013
雨にも負けず 熱い市民の声援を受け
多くのランナーが駆け抜けていきました

2013.11.1
No.7

議会開会中

第3回定例会

主な議案のあらまし

平成25年第3回定例会は、9月10日から26日までの17日間の日程で開催しました。

本定例会では、平成25年度各会計補正予算、条例などの審議のほか、平成24年度各会計決算について市長から決算大綱説明が行われ、決算審査特別委員会で審査を行いました。また、市政について15人の議員が一般質問を行いました。

◎平成24年度各会計決算

決算審査特別委員会で慎重な審査を行い、各会計決算7件を本会議において認定しました。決算額は、一般会計が歳入210億566万円に対し、歳出205億8、660万円、差し引き4億1、906万円の剰余、国民健康保険特別会計は、歳入53億6、341万円に対し、歳出53億5、761万円で、差し引き580万円の剰余、公営住宅事業特別会計は、歳入7億5、067万円に対し、歳出7億3、251万円で、差し引

き1、816万円の剰余、介護保険特別会計は、歳入47億1、427万円に対し、歳出46億1、138万円で、差し引き1億289万円の剰余、後期高齢者医療特別会計は、歳入5億2、774万円に対し、歳出5億2、671万円で、差し引き103万円の剰余が生じました。

また、下水道事業会計の収益的収支は、事業収益10億3、399万円に対し、事業費用9億9、566万円で、3、833万円の純利益、資本的収支は、収入8億4、013万円に対し、支出14億2、374万円で、差し引き不足額5億8、361万円となり、当年度分損益勘定留保資金、引継金等で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支は、事業収益63億912万円に対し事

業費用は65億8、691万円で、2億7、779万円の純損失、資本的収支は、収入5、440万円に対し、支出7億231万円で、差し引き不足額6億4、791万円となり、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

◎平成25年度補正予算

一般会計は、補正予算(第5号)、(第6号)により4、456万4千円を増額補正し、総額207億9、274万8千円となりました。

主な事業費は、ごみ処理手数料の改定及び分別の一部見直しに伴う市民周知用ガイドブック等の作成並びに指定ごみ袋の不足見込みに伴う追加作成等費用1、907万6千円のほか、特別支援教育に係る教育支援員の増員費用、市内小学校への実物投影機配備のための備品購入費用などです。

介護保険特別会計は、488万8千円を増額補正し、総額47億7、050万4千円となりました。

また、職員の手当等の削減に伴い、各会計予算において減額補正を行いました。

◎条例の制定・改正

「滝川市子ども・子育て会議条

例」など5件の条例を制定・改正しました。

また、第2回定例会で厚生常任委員会へ付託した「滝川市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例」は、厚生常任委員会での審査の結果について委員長から報告を受け、採決した結果、賛成多数により委員長報告のとおり可決しました。

◎請願の採択

厚生常任委員会へ付託した「公設民営による『さいわい湯』の運営改善を求める請願書」については、厚生常任委員会での審査の結果、請願の一部について採択すべきと決定したとの委員長報告を受け、採決した結果、清水議員、渡辺精郎議員が、請願すべてを採択すべきとして反対しましたが、賛成多数により委員長報告のとおり一部採択としました。

◎意見書の送付

3件の要望意見書を可決し、関係機関に送付しました。

◎その他の議案等

そのほか、15件の議案等を可決、選任、報告済としました。

第3回例会
一般質問から



市民クラブ
窪之内美知代
議員

江部乙駅の案内標識設置を

質問 江部乙まちづくり研究会での意見交換会で、国道12号に江部乙駅の案内標識がないのは問題との指摘があった。市が責任を持って設置のための対応を。

答弁 江部乙まちづくり研究会では、地域振興のため、江部乙駅のイベント活用などを企画されており、その実現に向けJR北海道に相談されていると聞いています。市として地域の皆さんと情報交換させていただくとともに、関係機関と相談していきます。

滝川市立病院の防犯対策

質問 滝川市立病院の診察室での医師・看護師の配置及び事件・事故発生時の対応マニュアルの有無や防犯ベル・防犯カメラの設置などの総合的な防犯対策について伺

う。

答弁 防犯対策として制服着用 of 警備員を24時間体制で配置し、病棟・外来の巡回や不審者への警備業務に当たっています。また、「院内暴力対策指針」や「院内暴力等対応マニュアル」を策定し、対策を図っています。診察室では医師と看護師の複数で対応していることから、防犯ベル・防犯カメラは設置していません。今後とも安全で安心して医療を受けられるよう取り組んでいきます。

住宅住み替え支援事業の状況と推進について

質問 今年度から始まった住宅住み替え支援事業への相談と住み替え件数、推進対策を伺う。

答弁 中空住み替え支援協議会で受け付けた相談件数は20件、サービス付き高齢者向け住宅への住み替えは15件、子育て世代の住み替え支援のための登録は1件ですが未成立。売買物件4件のうち1件が成立しました。今後も登録物件確保のため、滝川地方宅建協会等と協力して空家住宅の掘り起こしを行います。



市民クラブ
大谷久美子
議員

高齢者のタクシー代助成について

質問 第5期高齢者保健福祉計画の中で、リフト付きタクシーの利用助成が介護度3まで拡大したことは評価するが、介護度1や2でも、病院に行く機会の多い高齢者にとって、交通費の負担は大きい。施設入所の場合の助成費が居宅介護と比較して大変大きいことを考え、タクシー代の助成を検討すべきと思うがどうか。

答弁 対象を介護度3まで拡大し、リフト付きタクシー代の助成を基本料金から乗車運賃までとしました。改善の成果や結果を踏まえて第6期の計画に向けて必要に応じて対処していきます。

学校給食について

質問 食物アレルギーの児童・生徒が増加しているようだが、人数や発生の状況、児童・生徒に対する対応や教職員に対する研修、ク

ラスの子ども達への指導などどのようなになっているのか。また、親子給食となった場合、どのように対応していくのか。

答弁 食物アレルギーの児童・生徒数は、平成23年度166名、平成24年度195名、平成25年度216名と増加傾向にあります。昨年、問題が1件発生しましたが、保護者に連絡し医療機関を受診した結果、大事には至りませんでした。毎年4月に健康調査や保護者からの報告により状況を把握し、給食献立表にアレルギー食材を表示し、対象者にそれらが入った給食を食べないように指導しています。現在、対応食の提供は行っていないので、弁当持参者が小学校で3名、中学校で2名います。教職員に対しては、校内研修を実施し、命に関わる危機管理意識を強く持つて対応するよう共通理解を図り、クラスの子ども達にも指導を行っています。平成27年度からスタートする親子給食では、4か所で調理し、それぞれの学校に配食します。専門の調理員を配置し適切な対応を行います。弁当を持参する場合も考えられます。



新政会
関藤 龍也
議員

街路灯LED化補助金について

質問 電気料金の値上げに対しLED化の普及が急務と思うが、町内会の街路灯LED化の補助金の見直しについて検討されるお考えはないか伺う。

答弁 現在、かかった経費の80%を補助する定率制としていますが、現時点において、上限を2万8千円とする定額制へ変更する考えは持っていない。

質問 町内会等から要望が強くなっても、制度の変更は全く検討する余地はないのか伺う。

答弁 全く検討しないということではなく、現在整理している来年度の要望数については、なるべく予算化できるよう確保に努めたいと考えています。

質問 国・自治体の補助金制度の周知のあり方について伺う。

答弁 市民や事業者にとって有用と思われる制度を、市の公式ホームページで周知に努めるとともに、

相談いただければ、要望に沿った制度の窓口等を紹介いたします。

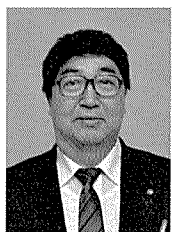
質問 企業向けの補助金制度の一覧表を作成する考えはないのか伺う。

答弁 各省庁から様々な補助制度が出されており、どの企業がどの補助制度に合うのか見極めることは難しいが、市の公式ホームページで紹介している内容等を企業にとってわかりやすいように見直すことも検討したいと考えています。

教員の指導環境について

質問 教員は、学習指導以外に多忙を極めていると聞くが、本市において、教員は生徒指導に専念できる環境になっているのか実態を伺う。

答弁 教員は、日常の時間外、また、休日においても、多岐にわたる多忙であることは否定できません。教員は、児童・生徒と相互の人間関係を築き、一人の人間として対応することが求められています。一部の教員に負担が偏ることなく、校長のリーダーシップの下で組織的に生徒指導に取り組んでいます。



市民の声連合
渡辺 精郎
議員

友好親善都市沖縄県名護市の懸案事項に寄り添う滝川市のあり方について

質問 名護市の稲嶺市長さんの講演「辺野古への米軍新基地建設反対は名護市民の総意」を聴いた。全国からの「意見書・署名・激励の言葉」などが有効とのこと、友好親善都市として、その悩みに寄り添う滝川市であるべきでは。

答弁 名護市と滝川市は友好親善都市として様々な交流を続けていますが、国政にかかわる大きな問題に関しては、静かに見守ることも悩みに寄り添う一つの形ではないかと考えます。

質問 今は議員交流もなく淋しい。市として考慮すべきでは。

答弁 今までの経緯も勉強し、議員交流についても、皆さんと議論させていただきたいと思っています。

今冬の除雪・排雪について

質問 近年は記録的な豪雪である。

私は14年間除雪・排雪問題を取り上げてきた。市民が納得する雪道のあり方を提案したい。①降雨の後、氷雪を玄関口に置いて行つた後始末をすること。②現在10cmで除雪出動しているのを、15cmとし、その費用分を排雪に回すこと。

答弁 道路整正作業で努力していますが、限られた時間での対応であり、市民の皆さんのご協力をお願いしているところです。

質問 15cmで除雪し、排雪を多くする提案の試行を緑町5区の私の町内でやってみてはどうか。

答弁 もう少し広い区域でまともに、協議させていただきます。

「いじめ防止条例」制定に向けた進捗状況について

質問 「いじめ防止条例」の早期制定を、私が本会議で質問して早くも1年を迎える。北海道でも制定の方向とのこと。進捗状況の説明を。

答弁 本年6月に法律が成立しました。この基本方針の下、北海道も検討中であり、本市も道と市町村の関係等について情報収集を行い、遅滞なく進めていきます。



新政会
小野 保之
議員

公園整備計画について

質問 滝川公園は、昔は賑やかだったが、今は訪れる人も少なく、施設の廃屋等や草も伸び、とても公園とは言えない。滝川市公園施設長寿命化計画の対象とはなっていないのか。また、公園と周辺整備は考えているのか。

答弁 滝川公園については、豊かな自然林に囲まれた環境により、多くの野鳥の飛来や動植物が生育することから、特に自然愛好者に親しまれる風致公園として位置付けています。現在、整備について具体的な計画はありませんが、開設から50年以上が経過することから、公園内に設置されている施設は老朽化が著しく、利用者の安全面から対策の必要があることは認識しています。

今後自然を活かした風致公園として考えており、大規模な改修や整備は行わず、老朽化した施設に代わるベンチ等の休息施設を充

実させ、利用者が自然の恩恵を享受できる環境の保持を念頭に維持管理に努めていきます。

滝の川球場について

質問 開設から26年が経ち、現在も年間多くの利用者があるが、施設は他市町と比較するとお粗末です。厳しい現状の予算では、改修・補修等を考えると利用料金の徴収も必要ではないか。また、グラウンドの土も入れ替えが必要であると思うが、考えを伺う。

答弁 滝の川球場は、市営球場のサブ球場として開設されたものでしたが、近年は両球場を利用して全道大会も開催されており、球場の整備格差も出てきています。また、土の入れ替え時期も来ているものと認識しています。毎年芝の養生や土の補充等は行っています。また、限られた予算の中で緊急性等を考慮し、優先度を検討しながら順次整備に努めたいと考えています。なお、利用料金の徴収については、指定管理者や利用者の意見も伺いながら、また、他の無料施設のあり方も含めてもう少し勉強させていただきたいと思っています。



市民クラブ
木下八重子
議員

地域密着型サービスについて

質問 第5期高齢者保健福祉計画によると、小規模多機能型居宅介護の整備の促進を図るため、本年度1か所、定員25人の施設整備が計画されていますが、その整備状況と地域密着型サービスを提供している事業者数、施設数を伺う。

答弁 地域密着型サービス施設は、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画において計画的に必要な量を整備しています。現在、市内にある地域密着型サービス施設は6事業者で、小規模多機能型居宅介護1か所、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）6か所、通所介護1か所の計8施設です。

江部乙地区の振興について

質問 昨年4月に市民団体の呼びかけで江部乙地区の将来像を話し合う「江部乙まちづくり研究会」が発足した。2年間を目途に将来ビジョンの策定を目指して活動を

続けているが、来年3月末で終了の見込みです。市としてこうした市民団体の活動に対して今後の支援体制をどのように考えているのか伺う。

答弁 地域が主体となった活動を期待するとともに、市民活動の気運が醸成されるよう応援していきます。

西高等学校の事務費の予算増について

質問 西高等学校の消耗品、特に用紙などを購入する予算が不足しているという。教材や備品の充実も当然必要だが、生徒、保護者への連絡などのプリントも数多いと思う。消耗品費も教育に必要な予算と考えるが、消耗品費が不足していると認識されているのか、また、増額の考えがあるのか伺う。

答弁 西高等学校は、生徒数、教職員数ともに空知管内最大規模の学校であることから、用紙の使用量も多くなります。教育委員会として、学校の運営に支障のないように、また、生徒たちのために、今後も予算の確保に努めていきたいと考えています。



新政会
渡邊 龍之
議員

財政運営について

質問 消費税8%導入、北海道電力の値上げ等、厳しい財政運営が求められる状況で、新年度に向けてのプランニングについて伺う。

答弁 様々な要因により、今まで以上に市の財政が厳しくなることが想定されますが、経常経費の節減を図り、既存事業の見直しを含め緊急度・重要度から事業の取捨選択を進めるとともに、情報収集を進め対応を検討していきます。

農業施策について

質問 畜産試験場跡地利用促進事業の進捗状況について伺う。

答弁 現在、跡地利用している株式会社滝川アグリでは、昨年から5haでキャベツを栽培し、今年からその規模を25haに拡大し、キャベツのほかに玉ねぎ、小豆を栽培しています。最終利用面積は51.2haで、早い時期での計画目標達成に向け連携を図っていきます。

市民力推進事業について

質問 市長の考える市民力推進事業の基本的な構想について伺う。

答弁 市民のニーズ、地域の課題等には、市民と行政が協働で取り組む必要があります。市民、地域が主体となり、自らの発想や行動力を活かした「市民力」による魅力あるまちづくりを目指します。

給食会計の公会計化について

質問 給食会計の公会計化の考え方は。

答弁 給食費未納対策として、支払督促の申立てなどで未納率も減少していますが、任意団体では限界があります。現在、全国や道内他市の公会計化の先進事例を調査しています。システムの導入に経費はかかりますが、食材費が安定し、教職員の未納者対応に要する時間が減り、督促・催告や未納者情報の管理が効率良く進められます。平成25年度は管理システムや徴収体制を検討し、平成26年度には管理システムの設計、導入、運用テストなどを経て、平成27年度から公会計化を実施する予定です。



市民クラブ
山本 正信
議員

環境保全型農業直接支援対策について

質問 来年度に向けての取組状況を伺う。

答弁 今年度は全農家にFAXで周知しましたが、今後も全農家に取組みが広がるように制度の周知に努めます。

農業所得向上対策について

質問 国の政策や農産物市況に翻ろうされない滝川農業づくりの方策の考えをお聞きたい。

答弁 6次産業化、農業基盤整備、高収益作物、減農薬・減化学肥料栽培や農業生産工程管理を推進し、農業法人の育成に努めます。

ナタネの作付推進について

質問 作付拡大策を伺う。

答弁 輪作体系維持のため、大きな障害となる雑草（イヌカミツレ）対策として農薬の散布試験を実施しており、今後、農薬登録に向け

た手続きを進めていきます。

「北の米蔵」設備更新について

質問 築後10年以上経ち、コンピュータシステムの劣化が激しい。今後の改修計画をお聞きたい。

答弁 たきかわ農協の施設の利用計画を前提として、国の補助の可能性、今後の管理運営のあり方について、たきかわ農協と協議していきます。

丸加高原健康の郷施設の民間公募について

質問 現在の進捗状況を伺う。

答弁 1件の問い合わせがありますが、応募がないときは11月で公募を一旦打ち切り、来年二次募集し、その結果を踏まえ判断します。

江部乙川改修について

質問 江部乙川の改修工事が進展していないが、状況を伺う。また、地区が重なる土地改良事業の遅れについて伺う。

答弁 滝川河川事務所では、予算確保に向けて取り組んでいるとのこと。また、機会あるごとに関係機関に強く要望しています。



新政会
山口 清悦
議員

一般競争入札参加資格審査について

質問 地場企業ポイントや地域貢献活動の評価ポイントを付与するなどの方法で市内に本社・本店のある地元企業を育成し、受注機会の増大を計るべきではないか。

答弁 本市では、平成20年度から市内業者の育成と市内経済の活性化を図る観点から、市内業者及び地場業者を入札参加対象者とした地域限定型一般競争入札を導入しており、建設工事については、ほぼ100%を市内業者及び地場業者が受注しています。地場企業ポイントや地域貢献活動の評価ポイントの付与は、北海道や札幌市等が導入している総合評価落札方式の評価項目であり、本市では実施していません。

質問 本市で地場企業とは支店や営業所を含んでいるが、函館・釧路・旭川などの入札条件のように市内に本店・本社がある企業に限

定するべきではないか。

答弁 他市の状況は把握していますが、限定すると工事の種類により参加業者数が少ないなどの支障が出るのが考えられるので、現在の方法を続けていきたいと考えています。

防災情報の住民告知について

質問 JアラートとFMラジオの連携スタートに向けて、市内における難聴地域カバー対策の実施を急ぐべきではないか。

答弁 市内のどこに居住していても迅速に災害情報が受信できることは、安心安全なまちづくりを進める上で必要です。また、FMラジオを利用することで広域的に即時に国から住民へ情報を伝達できることは効果が大きいと考えています。市内における難聴地区の解消については、多額の経費を伴うことと、通勤通学先での災害発生も考えられ、広域的な受信体制整備の必要性があることから、中空知構成市町やエフエムなかそらちとも話し合いながら、より効率の良い難聴地域カバー対策について検討していきたいと考えています。



市民クラブ
荒木 文一
議員

河川敷管理について

質問 まち自慢のパークゴルフ場設置の候補予定地となっている石狩川河川敷の「旧つつじコース」の管理状況と管理費用について伺う。

答弁 平成15年度の河川災害復旧工事に伴い、一部コース利用が困難となったことから、平成21年度末でゴルフ場の利用を取りやめ、市が受け皿となって芝生公園として利用しています。管理については、他の公園緑地と合わせて滝川振興公社に委託しており、この部分に係る委託費は年間約300万円程度となっています。

街路灯LED化について

質問 街路灯、防犯灯に係るLED化について、現在、来年度分の補助申請を各町内会から受け付けている状況と思うが、申請数等の状況について伺う。

答弁 途中経過ではありますが、

来年度の要望数は、74町内会等から907灯の要望をいただいています。仮に本年度と同様の予算額とした場合、申請灯数の4割程度が補助対象と考えますが、可能な限り申請いただいた灯数の予算化に努力したいと考えています。

空き店舗対策について

質問 中心市街地の空き店舗について、利活用に至らない要因をどう考えるのか伺う。

答弁 新規出店者を対象に家賃補助制度を実施してきましたが、長期の利活用には至りませんでした。要因として、借り手と貸し手の関係で、貸し手側は老朽化が激しい物件の改修等に着手できず、借り手側も高い頃の家賃水準や設備投資の資金力不足などから敬遠する傾向にあり、需給バランスにミスマッチを起している状態が考えられ、それぞれの立場で努力が必要と考えます。この負のスパイラルを断ち切るには、不動産の流動化を活性化させ、「集い」「賑わい」環境づくりを推進するため、市民、商店街、市民団体等の意識を共有化していく必要があると考えます。



公明党
三上 裕久
議員

定住自立圏の形成に向けて

質問 中空知5市5町が一つも漏れることなく参加することが重要だが、市長はどのような努力をされるのか伺う。

答弁 本年7月以降4回にわたり協議を進めてきました。10月開催の理事会において、一つも漏れることなく参加合意できるような努めます。

緊急輸送道路の点検・整備について

質問 災害時における緊急輸送道路の確保は、日頃の点検整備が重要であるが、緊急輸送道路及びそれに準ずる市道の点検と今後の整備計画について伺う。

答弁 緊急輸送道路は、地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に機能させるための道路で、災害復興期には重要な役割を果たす道路です。緊急輸送道路を含む主要道路については、平成24年度

の国の緊急経済対策により道路の下空洞調査を実施し、3か所の危険箇所を発見し補修済みです。また、今後、二次調査において、緊急輸送道路や災害拠点につながる道路の調査を進め、必要な対策を行っていきます。

ネットショップオープンの助成制度について

質問 ネット社会の進展で、ネットショップを持つことは販路拡大につながると思われる。販路拡大を考える商店主に対し、ショッピングモールに出店するための助成制度を創設するべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 これまでの産業チャレンジ助成金の活用も可能であり、申請があれば検討します。

児童の通学時安心対策について

質問 ICタグを利用した児童の見守りシステムの今後の展開について伺う。

答弁 1年生から3年生までの児童の8割が利用し、好評なことから、今後は4年生まで利用の拡大について検討します。



公明党
堀 重雄
議員

行財政改革について

質問 市長の行財政改革についての見解を伺う。

答弁 将来にわたって安定的な行政運営を目指すために、持続可能な公共施設運営を目指す公共施設マネジメント計画の策定を進めています。また、民間活力を有効に活用した行政事務のアウトソーシングについて、実現の可能性について鋭意検討を進めているところです。

市役所改革について

質問 人事評価において、市長の見解を伺う。

答弁 難しい課題ですが、客観性が高く、偏りのない評価方法を模索しながら、職員の能力開発、人材育成につなげ、モチベーションの上がる職場としていきたいと考えています。また、仕事に責任を持つことと、成績、勤務目標を持つってもらうことを一つの目的として

係長制の導入を検討しており、頑張った者が報われる制度となるよう今後も検討を進めていきます。

健康増進事業について

質問 がん検診に胃がんの要因とされるピロリ菌検査を導入する考えはないか伺う。

答弁 国の動向を見て対応したいと考えています。

質問 他の自治体で「健康マイレージ」という事業を市民の健康推進のために取り組んでいるが、本市での取り組みは。

答弁 先進事例の内容や効果を把握し、今後の事業を効果的に推進するための方策として検討していきます。

1人1袋について

質問 単身世帯から10人の燃やせるごみ袋の要望があるが、導入する考えはあるか伺う。

答弁 1人世帯用の小さな袋の要望は承知しています。来年度から雑誌の収集など新たな分別収集も始まることから、動向を注視し、状況によって導入を検討したいと考えています。



新政会
坂井 英明
議員

中心市街地活性化対策について

質問 個別店舗への対応についての対策を伺う。

答弁 街なかに人を歩かせ、人が集うような仕組みづくりを引き続き実施し支援する中で、ビジネスチャンスが見出され、シャッター街といったマイナスイメージを払しょくすることで、新規出店や不動産の流動化が図られることに期待しています。

観光情報の発信について

質問 国内外への情報発信の考え方について伺う。

答弁 菜の花まつりなどのイベントの開催、食や花などを活かしたツアーの誘致、東アジアをターゲットとした外客誘致に取り組んでいます。広域観光についても、周辺市町との連携について取り組んでいるところです。

質問 取り組みに一貫性が感じられず、目標が明確になっていない

のではないか。

答弁 目標は世界に誇れる国際田園都市で、豊かな資源を活かした魅力あるまちづくりを目指し、集客交流事業や広域観光、国際観光を推進しています。本市には強力な観光資源はありませんが、目標に向かいできることを行っていく中で、有効なものを抽出し、市民の皆さんと磨き上げていくことが重要と考えています。

まち自慢のパークゴルフ場について

質問 現段階での市民への意見の聞き取り状況と今後の取り組みについて伺う。

答弁 関係団体へ説明する中で、要望、意見として、コースの整備、料金、無料コースのあり方、工事期間、近隣パークゴルフ場・ふれ愛の里との連携、交通手段の確保、既存パークゴルフ場の存続などがありました。現在、設計作業を進めており、管理運営、料金体系などについてプロジェクトによる検討を進めています。今後、議会や市民の皆さんへ説明し、意見を聞きたいと考えています。



日本共産党
清水 雅人
議員

浴室未設置市営住宅の建替促進について

質問 市営住宅浴室未設置住宅解消には20年・50億円以上かかる。一方、道はエレベーターの無い道

営啓南団地143戸と滝の川団地32戸を募集停止し、建替計画策定に入るなど30年進んでいる。北海道に学び、建替促進のために一般会計から公営住宅特別会計への繰出しや貸付け等の検討を求める。

答弁 繰出し制限はありませんが、特別会計で行うのが基本と考えています。しかし、何ができるか、あるべき姿について今後勉強していきます。

道補助金が低額でも福祉灯油を実施できる独自財源確保について

質問 市は平成19年度、20年度に福祉灯油を実施した。平成20年度の助成額は1世帯4千円で1、938世帯に実施した。昨年度も灯

油価格が暴騰したが、北海道の助成額が低いことを理由に実施しなかった。この冬も価格が100円を超える情勢の中、独自にでも実施できるよう財源対策を求める。

答弁 市独自の財源対策について、既存事業の見直しを含め検討していきます。

買い物対策について

質問 経済産業省の「地域自立型買い物弱者対策支援事業」(補助率3分の2、上限1億円、道内で14件採択、ほとんどが移動店舗)で、札幌市北丘珠では4、600人の地域にミニスーパーが採択された。総事業費1億円で約65坪を建て替えし、生鮮3品が中心。①国の補助制度要望 ②同ミニスーパーの出店経過の調査などを求める。

答弁 北丘珠は、スーパーから2km離れ、バスは1時間に1本で買い物困難地域に認められました。事業者がいるかいないかが最大の問題で、出店しても地域の協力がなければ継続できません。事業者の市独自の協力も検討したいと考えています。



市民クラブ
柴田 文男
議員

中心市街地の活性化について

質問 栄町3丁目3番、いわゆる

3-3地区開発の現状と事業化に向けた市の姿勢について伺う。

答弁 地権者を中心とする開発への動きがありますが、事業主の確定には至っていません。今後も民間主導による開発を誘導しながら、3-3地区への公共機能のあり方については、関係所管で検討していきます。市としては、3-3地区の重要性を認識しており、行政としてできる範囲内で慎重に精力的に検討を進めていきます。

國學院大學北海道短期大学部の現状と課題について

質問 今日的課題について伺う。

答弁 学生数が減少し、経営環境が少子化の波とともに悪化しています。今後はますます入学者確保が最重要課題となってきます。大学の存続は地域経済へも大きな影響を及ぼすものであり、昨年、開

学30周年を迎え、さらにこの歩みを未来へとつなげるために、市としてどのようなことができるのか引き続き検討していきます。

社会福祉事業団への施設譲渡について

質問 緑寿園等の施設譲渡について、市民への丁寧な説明が必要ではないか。

答弁 施設譲渡予定先である滝川市社会福祉事業団は、市が設立し、福祉施設等の運営に長く貢献し、長い間の施設運営ノウハウを持って適切なサービスを提供してきており、市民の信頼も厚く、サービスの質や水準、確実性からも極めて適切な譲渡先であると認識しています。さらに、地域における福祉の発展、充実を使命とする公益を目的とした法人であることから、施設の譲渡を受けた後はさらに高い水準のコンプライアンス体制を推進し、信頼性の高い法人経営を目指されるものと理解しています。また、今後、国の制度見直しなど入所者、利用者に混乱が生じないよう、国の動向をしっかり注視、把握していきます。

平成25年第3回定例会議決結果

●平成25年度補正予算

◎	平成25年度滝川市一般会計補正予算(第5号)
○	平成25年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (反対 清水)
○	平成25年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算(第2号) (反対 清水)
○	平成25年度滝川市介護保険特別会計補正予算(第2号) (反対 清水)
○	平成25年度滝川市下水道事業会計補正予算(第2号) (反対 清水)
○	平成25年度滝川市病院事業会計補正予算(第2号) (反対 清水)
◎	平成25年度滝川市一般会計補正予算(第6号)

●条例

◎	滝川市子ども・子育て会議条例
○	職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例 (反対 清水)
◎	税外収入金の徴収等に関する条例等の一部を改正する条例
◎	滝川市東滝川地区転作研修センター条例の一部を改正する条例
◎	滝川市災害対策本部条例の一部を改正する条例
○	滝川市廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例 (反対 清水)

●意見書

◎	義務教育費国庫負担制度堅持、負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2014年度国家予算編成における教育費予算確保・拡充に向けた要望意見書
◎	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める要望意見書
◎	大規模地震等災害対策の促進を求める要望意見書

※議決結果の概要については、滝川市公式ホームページ内の滝川市議会のページでもご覧いただけます。

◎全会一致可決 ○賛成多数可決 ■全会一致認定 □賛成多数認定
★選任 ☆報告済 ◇全会一致推薦 ◆一部採択

●決算認定

□	平成24年度滝川市一般会計歳入歳出決算の認定について (反対 清水)
□	平成24年度滝川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について (反対 清水)
■	平成24年度滝川市公営住宅事業特別会計歳入歳出決算の認定について
■	平成24年度滝川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
■	平成24年度滝川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
■	平成24年度滝川市下水道事業会計決算の認定について
■	平成24年度滝川市病院事業会計決算の認定について

●その他

◎	決算審査特別委員会の設置について
★	決算審査特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
☆	平成24年度決算に係る健全化判断比率について
☆	平成24年度決算に係る資金不足比率について
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	専決処分について(損害賠償額の決定)
☆	専決処分について(訴えの提起)
☆	株式会社滝川振興公社の経営状況について
☆	株式会社滝川グリーンズの経営状況について
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について
○	滝川地区広域消防事務組合を組織する市町数の増加及び滝川地区広域消防事務組合規約の変更について (反対 清水 三上 堀)
◎	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について
◎	不動産の減額貸付けについて
◇	人権擁護委員候補者の推薦について
◆	公設民営による「さいわい湯」の運営改善を求める請願書 ※2ページ「請願の採択」参照 (反対 渡辺精郎 清水)

決算審査特別委員会を設置

本定例会では、2つの特別委員会を設置して平成24年度決算の審査を行いました。

第1決算審査特別委員会

第1決算審査特別委員会では、議会、総務、民生、衛生、労働、農林業、商工、土木、消防、教育費等の各費目の歳入・歳出の審査を行いました。委員名簿、主な質疑は次のとおりです。

委員長 坂井 英明

副委員長 窪之内美知代

委員 清水 雅人

渡邊 龍之 小野 保之

木下八重子 堀 重雄

関藤 龍也 荒木 文一

■窪之内美知代 副委員長

1 妊婦一般健康診査について

2 福祉除雪の利用者数と出勤日数について

3 小・中学校、高等学校における性教育と薬物乱用防止教育について

■小野保之 委員

1 生活保護費に要した経費の医療扶助増加の要因について

2 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業における副作用の対応等について

3 産業連携に要した経費の工場立地等助成金について

■清水雅人 委員

1 起債残高18億円減少の中、特別会計に独自繰出検討について

2 国の新規就農・後継者支援制度利用が進まない要因について

3 長期間同一業者が落札した委託事業の競争入札実態について

■渡邊龍之 委員

1 ウェルカムプロジェクトの具体的事業内容について

2 児童虐待防止対策緊急強化事業として取り組むべき内容及び情報共有化について

3 たきかわ文化村推進事業補助金について

■木下八重子 委員

1 國學院大學北海道短期大学部コミュニティカレッジについて

2 心の教育推進に要した経費について

3 宝くじ市町村交付金の積算について

■堀 重雄 委員

1 各種団体への補助金に対する総点検について

2 福祉除雪制度の見直し検討について

■関藤龍也 委員

1 外国人青年招致事業の増員による成果と労働時間について

2 企業誘致推進等事業における活動地域と訪問件数について

3 街路灯設置費補助金の対応について

■荒木文一 委員

1 市政功労者への弔慰金について

2 國學院大學北海道短期大学部に關する支出について

3 義務教育就学援助の動向について

※第1決算審査特別委員会の質疑述べ82名 質疑件数287件

第2決算審査特別委員会

第2決算審査特別委員会では、国民健康保険、公営住宅事業、介護保険、後期高齢者医療の特別会計4件と下水道事業、病院事業の公営企業会計2件の審査を行いました。委員名簿、主な質疑は次のとおりです。

委員長 山本 正信

副委員長 三上 裕久

委員 渡辺 精郎

水口 典一 山口 清悦

田村 勇 井上 正雄

柴田 文男 大谷久美子

■三上裕久 副委員長

1 高齢者見守り事業における成果について

2 公営住宅入居者の状況把握と入居待ち市民の入居状況について

3 下水道事業会計における不納

欠損金の削減のための他所管との連携について

■渡辺精郎 委員

1 10年前よりも入院患者・外来患者ともに減少している原因について

2 今後の介護認定者増加への対応について

3 国民健康保険税納入世帯の収入の状況について

■山口清悦 委員

1 公営住宅会計における調定額決定の基準と繰越明許について

2 下水道事業会計における現金比率・流動比率の推移について

3 病院事業会計における高等看護学院の収入減の要因について

■井上正雄 委員

1 公営住宅の建替計画の進捗状況と入居の実態について

2 国民健康保険事業の問題点と税の納入状況について

■柴田文男 委員

1 介護保険特別会計における不

用額の改善について

2 年金生活者の住宅確保に対する具体策について

■大谷久美子 委員

1 公営住宅の空き駐車場の状況について

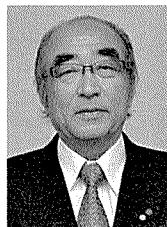
2 特定健康診査事業予算の見積りについて

3 後期高齢者医療保険料の納付書による未納者に対する対策について

※第2決算審査特別委員会の質疑述べ32名 質疑件数54件

市民の皆様こんにちは

市民の皆様こんにちは



豊穣の秋、不安定な気候により作況は、畑作がばらつきましたが、お米はやや良となり、市民の皆様もほっとしていることと思います。

第3回滝川市議会定例会を9月10日から26日まで開催しました。

議案・意見書等を審議し、総体的に黒字となった平成24年度各会計決算を審査し、認定しました。また、24日から26日の3日間の一般質問では、各議員により精力的かつ、将来を見越した質問が交わされました。

議員全員が市民のための政治を実践すべく努力し、より住みやすい滝川市を目指して、これからも、市民の皆様のご意見・ご要望等を大切にしてまいりますので、18名の議員にどうぞご意見等をお寄せください。今後とも皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

滝川市議会副議長

田村 勇

議会目録 (平成25年7月1日～平成25年9月30日)

7. 2	一般財団法人滝川市体育協会が管理する市の施設の管理・運営状況確認のため、総務文教常任委員会委員等12名が視察を行った。	8. 1	中空知衛生施設組合リサイクルクリーンの稼働状況確認のため、厚生常任委員会委員6名が視察調査を行った。
7. 3	宮城県白石市議会「総務財政常任委員会」一行5名が、総合計画の推進の調査のため来市した。	8. 1	第23回厚生常任委員会を開催した。
7. 5	中空知ふるさと市町村圏議員交流会が開催され、正副議長をはじめ18名の議員が出席した。	8. 5	山形県寒河江市議会「新清・公明クラブ」一行4名が、菜の花によるまちづくり事業の調査のため来市した。
7. 9	岩手県北上市議会「新清会・北新ネット」一行13名が、市立図書館の調査のため来市した。	8. 6	埼玉県加須市議会「新政会」一行17名が、健康たきかわ21アクションプランの取組みの調査のため来市した。
7. 9	愛知県豊橋市議会「新政未来」一行7名が、まちづくりセンターみんくるの調査のため来市した。	8. 8	第28回経済建設常任委員会を開催した。
7. 9	栃木県栃木市議会「栃木創志会」一行3名が、市立病院建て替え事業の調査のため来市した。	8. 12	第25回総務文教常任委員会を開催した。
7. 11	京都府舞鶴市議会「鶴声クラブ」一行3名が、心の教育推進プランの調査のため来市した。	8. 12	第36回議会運営委員会を開催した。
7. 12	第27回経済建設常任委員会を開催した。	8. 19	平成25年第2回市議会臨時会が開催された。
7. 12	神奈川県大和市議会「新政クラブ」一行8名が、心の教育推進プランの調査のため来市した。	8. 21	第24回厚生常任委員会を開催した。
7. 12	名寄市議会「市政クラブ」一行6名が、空き家等の適正管理に関する条例の調査のため来市した。	8. 21	群馬県安中市議会「民主・社民クラブ」一行3名が、市議会インターネット中継の調査のため来市した。
7. 16	愛知県安城市議会「経済福祉常任委員会」一行10名が、滝川市バイオマスタウン構想ほかの調査のため来市した。	8. 23	北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会が夕張市において開催され、議長をはじめ14名の議員が出席した。
7. 17	第22回厚生常任委員会を開催した。	8. 28	第25回厚生常任委員会を開催した。
7. 23	埼玉県春日部市議会「新政の会・社会民主党」一行11名が、滝川市立病院の建て替え事業の調査のため来市した。	8. 29	第29回経済建設常任委員会を開催した。
7. 24	厚生常任委員会委員等8名を資源リサイクルセンター及び広域クリーンセンターの調査のため、北広島市及び小樽市に派遣した。	8. 30	第26回総務文教常任委員会を開催した。
7. 24	富山県氷見市議会「政友会」一行8名が、地域公共交通総合連携計画の取り組みの調査のため来市した。	9. 4	第37回議会運営委員会を開催した。
7. 25	岩手県花巻市議会「福祉常任委員会」一行9名が、こどもセンターめ・も・るの運営の調査のため来市した。	9. 9	第38回議会運営委員会を開催した。
		9.10～26	第3回市議会定例会が開催された。
		9.17～19	第1・第2決算審査特別委員会を開催した。
		9. 18	第27回総務文教常任委員会を開催した。
		9. 20	第39回議会運営委員会を開催した。
		9. 24	第40回議会運営委員会を開催した。
		9. 27	第26回厚生常任委員会を開催した。
		9. 30	厚生常任委員会委員等10名を特別養護老人ホーム大友恵愛園、特別養護老人ホームひかり、養護老人ホーム楽生園及びハーブガーデン新十津川の調査のため、札幌市、歌志内市及び新十津川町に派遣した。

編集後記

今定例会では、平成24年度の収支決算が認定されました。

議会には、行政へのチェック機能が求められています。そのため、それぞれの議員が真剣に質疑を行いました。

その様子を、紙面を通して、皆さんにお伝えできれば幸いです。

■たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 窪之内美知代
副委員長 渡邊 龍之
委員 三上 裕久
委員 清水 雅人
発行責任者 滝川市議会議長 水口 典一

傍聴してみませんか

平成25年第4回滝川市議会定例会の開催予定日をお知らせします。

日程

12月9日(月) 本会議
12月10日(火) 本会議
12月16日(月) 本会議 一般質問
12月17日(火) 本会議 一般質問
12月18日(水) 本会議 一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認して下さい。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048